資料１

令和６年度アスベスト大気濃度調査結果について

１．調査目的

「アスベスト問題に係る総合対策」（平成 17 年 12 月 27 日付けアスベスト問題に関する関係閣僚による会合決定）では「実態把握と国民への積極的な情報提供」の一環として「大気中のアスベスト濃度測定については、実測調査を引き続き実施する。」こととされている。

このため、環境省では、国民に対し情報提供するとともに、今後のアスベスト対策の検討を行うに当たっての基礎資料とすることを目的として全国のアスベスト大気濃度調査を実施している。

２．調査概要及び調査方法

（１）調査概要

令和６年度に調査を行った地点数等についての概要を表１に示す。

継続調査地域は 33 地点・64 箇所、解体現場等は 11 地点・66 箇所であった。

表１　令和６年度に調査を行った地点数等についての概要

調査区分	調査時期	調査地域	調査個所	発生源周辺地域調査地点内訳				バックグラウンド地域調査地点内訳					解体現場等
				旧石綿製品製造事業場等	廃棄物処分場等	蛇紋岩地域	高速道路及び幹線道路沿線	住宅地域	商工業地域	農業地域	内陸山間地域	離島地域	
継続調査地域	令和6年7月～12月	33	64	―※	3	3	6	7	5	1	4	4	―
令和6年度調査地域	年1回	11	66	―	―	―	―	―	―	―	―	―	11

※）継続地点は、1地域あたり１～２箇所、解体現場は1地域あたり5～9箇所で調査を行った。

※）「旧石綿製品製造事業場等」は、令和5年1月より工場が休止しているため、調査は行っていない。

（２）調査方法

試料の採取及び分析は「アスベストモニタリングマニュアル（第4.2版）（令和4年3月環境省水・大気環境局大気環境課）」に基づいて行った。

採取した試料については、位相差顕微鏡（以下「PCM」という。）を用いて計数対象となる繊維状粒子を計数し、総繊維数濃度を求めた。なお、総繊維数濃度が1本/Lを超過した場合は、分析走査電子顕微鏡（以下「A-SEM」という。）を用いて石綿繊維の同定を行ったた。

捕集作業担当者は、捕集作業管理責任者から十分な教育を受けたものが業務を実施した。また、顕微鏡計数担当者は、（公社）日本作業環境測定協会が実施するクロスチェックに参加し、A、B又はCランクの資格を持ち、十分な技術を有していると認められる者が計数業務を実施した。

３．調査結果概要

（１）アスベスト大気濃度調査による地域分類別の総繊維数濃度結果

「継続調査地域」及び「令和6年度調査地域」の地域分類別計測結果集約表を表2に示す。参考までに、解体現場等の集じん排気装置出口等における調査結果についても併せて示す。総繊維数濃度は130データのうち、80データが1本/L以下であった。

表２　地域分類別計数結果集約表

地域分類		地点数	測定箇所数	測定データ数	総繊維数濃度		
					最小値（本/L）（3日間の幾何平均）	最大値（本/L）（3日間の幾何平均）	幾何平均値（本/L）
発生源周辺地域	旧石綿製品製造事業場等	－	－	－	－	－	－
	廃棄物処分場等	3	6	6	＜0.056	0.48	0.19
	蛇紋岩地域	3	6	6	0.056	0.15	0.079
	高速道路及び幹線道路沿線	6	12	12	＜0.056	0.21	0.073
バックグラウンド地域	住宅地域	7	13	13	＜0.056	0.12	0.077
	商工業地域	5	10	10	＜0.056	0.10	0.073
	農業地域	1	2	2	0.11	0.16	0.13
	内陸山間地域	4	7	7	＜0.056	0.25	0.10
	離島地域	4	8	8	＜0.056	0.14	0.079
解体現場等（施工区域周辺）		11	44	44	＜0.056	0.56	0.11
合計		44	108	108	－	－	－

（参考）解体現場の集じん排気装置出口等における調査結果	地点数	測定箇所数	測定データ数	総繊維数濃度		
				最小値（本/L）	最大値（本/L）	幾何平均値（本/L）
解体現場等（セキュリティゾーン出入口　内側）	4	4	4	＜0.11	34	1.80
解体現場等（セキュリティゾーン出入口　外側）	4	4	4	0.22	1.3	0.49
解体現場等（集じん排気装置出口）	9	9	9	＜0.11	2.3	0.23
解体現場等（発生源近傍）	4	4	4	＜0.11	1.5	0.71
解体現場等（作業場内）	1	1	1	7.1	7.1	7.1
合計	－	22	22	－	－	－

注1）検出下限値は0.056本/Lである（但し、解体現場等の検出下限値は、0.056又は0.11本/L）

注2）解体現場等　：建築物又は工作物の解体、改造又は補修作業現場

施工区画周辺　：解体現場等の直近で一般の人の通行等がある場所との境界

注3）解体現場等以外の地点については3日間の幾何平均値で評価

ア 発生源周辺地域

今年度調査を実施した「発生源周辺地域」では、総繊維数濃度1本/Lの超過は無かった。

なお、「旧石綿製品製造事業場等」は、令和5年1月から当該工場の操業が休止しているため、調査の実施を見送った。（表5（１）№２地点）

イ バックグラウンド地域

今年度調査を実施した「バックグラウンド地域」では、総繊維数濃度1本/Lの超過は無かった。

ウ 解体現場等

解体現場等についてはNo.35からNo.45地点の計11地点で調査を行った。吹付け石綿に係る作業が6地点、石綿含有断熱材に係る作業が1地点で使用されていた現場であり、負圧隔離養生をし

たうえで、除去作業を行っていた。また、仕上塗材が1地点、成形板が1地点で使用されている現場で養生(負圧無し)や負圧隔離養生を行ったうえで除去作業を行っていた。

○No.35 の解体現場等

・作業状況

No.35 は、体育館内にある部屋内の壁面に使用されていた石綿含有スレートボード（クリソタイル）について、手ばらしによる除去作業を行っていた。

作業内容は、床・壁に散水し湿潤化させ、スレートボードを釘抜きにより除去し、壁面に残ったスレートボードの破片をスクレーパーによりはぎ落していた。手ばらしをしていたスレートボードは体育館内の一室で 2 重包装したうえで、フレキシブルコンテナに詰める作業を行っていた。

また、壁面のスレートボード除去後は再度、壁面及び床面の湿潤化を行っていた。

部屋に出入りするドアは基本的に閉められており、ブルーシートで養生されていた。出入りする際は、ドアを半分だけ開けてブルーシートをめくって出入りしていた。

除去した石綿含有建材をまとめた保管場所が体育館内に設けられており、今回除去したスレートボードを運びだす作業を行っていた。

測定地点として作業場近傍（除去作業部屋の出入口）と施工区画周辺を選定した。

・調査結果

作業場近傍の測定地点において総繊維数濃度が 1 本/L を超えたため、当該ろ紙を A-SEM で分析した。その結果、石綿繊維数濃度は検出下限値以下であった。

作業場近傍においては、湿潤化を行い出入口なども養生されており、デジタル粉じん計の値も大きな変動は確認されなかった。

また、施工区画周辺はいずれも総繊維数濃度が 1 本/L 以下であった。

○No.36 の解体現場等

・作業状況

No.36 は、対象建屋 2 階の天井・梁の吹付材（クリソタイル）を手ばらし、手ケレンによる除去が行われていた。

飛散抑制剤を用いて、鉄骨及び梁部分の吹付材の湿潤化を行い、手ケレンにより吹付材を剥ぎ落としていた。床面に落とした吹付材は、プラスチック袋で回収し負圧隔離養生内の四隅に 3 箇所に分けて残置されていた。

前室のビニールシートカーテンは、素材が薄く（0.1mm 未満と思われた。)、3 枚重ねていたが機密性は低かったと思われた。また、調査員の目視によれば、養生シートの膨らみが弱いように感じられた。

負圧隔離養生内は差圧計で-3～-7Pa で負圧は確認できたが、作業員の出入りの際にセキュリティーゾーン出入口において自動測定器（ファイバーモニター等）の数値の上昇が確認された。

集じん排気装置は 2 階エリアに 1 台のみ設置されており、ビニールダクトは窓部分から 1 階まで垂らして排気していた。曲がり部分に環状の支えが無かったため、折れが生じ、排気口の風量に影響しているとの印象をうけた。

従って、測定地点としてセキュリティーゾーン出入口（内側)、集じん排気装置出口及び施工区画周辺を選定した。

・調査結果

セキュリティーゾーン出入口（内側）の測定地点において総繊維数濃度 1 本/L を超えたため、当該ろ紙をA-SEMで分析した。その結果、石綿繊維数濃度は4.3本/L(クリソタイル11.1%、アモサイト1.6%）確認された。

なお、セキュリティーゾーン出入口（内側）のカーテンも負圧隔離養生内側に引き込まれていたことから、負圧は担保されており大気環境中への石綿の漏えいは無かったものと推察される。

なお、施工区画周辺はいずれも総繊維数濃度が 1 本/L 以下であった。

○No.37 の解体現場等

・作業状況

No.37 は、対象建屋１階の天井・梁の吹付材（クリソタイル）を手ケレンにより除去していた。

飛散抑制剤により鉄骨、梁部分の吹付材を湿潤化し、手ケレンにより吹付材を剥ぎ、直接プラスチック袋で受けて回収を行っていた。その後、保護衣等着脱室で回収したプラスチック袋を 2 重にして隔離養生外の１階の廃棄物保管庫に保管されていた。

前室は、チャック付きビニールシートが使用されていた。負圧隔離養生内は差圧計で-6～-10Pa であり、負圧は確認できた。

セキュリティーゾーン出入口（内側）においては作業員の出入りの際に自動測定器（ファイバーモニター等）の数値の上昇が確認された。

集じん排気装置は 2 階エリアに１台のみ設置し、ビニールダクトは窓部分から１階まで垂らして排気していた。集じん排気装置のフィルター交換を測定前に行っていた。

測定地点として、セキュリティーゾーン出入口（内側）と集じん排気装置出口と施工区画周辺を選定した。

・調査結果

セキュリティーゾーン出入口（内側)、集じん排気装置出口及び施工区画周辺の全測定地点で総繊維数濃度は 1 本/L 以下であった。

○No.38 の解体現場等

・作業状況

No.38 は、建築物に設置されている煙突用断熱材（アモサイト）をウォータージェット工法で除去作業を行っていた。

地上部と上部ともに前室のビニールシートカーテンはチャック付きで、負圧隔離養生内は差圧計で-10.9～-18.5Pa の差圧が確認できた。

集じん排気装置は地上部と上部にそれぞれ１台設置されており、フィルターは作業の区切りごとに交換を行っていた。

ウォータージェットで剥がされた断熱材と混合水は、地上部の防水シートで受け止め、一定量溜まったら、吸水性ポリマーを使用しゲル状にし、プラスチック袋で梱包していた。

測定地点として、セキュリティーゾーン出入口（外側 2 か所)、集じん排気装置出口及び施工区画周辺を選定した。

選定の理由として、負圧隔離養生部分に穴を開けての第１室内での測定ができなかったこと

及びセキュリティーゾーンの前が狭く三脚等を使用した測定用ろ紙ホルダーの設置ができなかったことからセキュリティーゾーンの外側部分にろ紙ホルダー及び自動測定器測定用チューブを設置し「セキュリティーゾーン出入口（外側)」で測定を行った。

・調査結果

煙突地上部のセキュリティーゾーン出入口（外側）の測定地点において総繊維数濃度1本/Lを超えたため、当該ろ紙をA-SEMで分析した。その結果、石綿繊維は確認されなかった。

総繊維数濃度1本/Lを超えた理由は、測定地点付近には草木があり、作業員の出入りなどにより繊維状物質が吸着した、ものと考えられた。

なお、集じん排気装置出口、及び施工区画周辺全ての測定地点で総繊維数濃度は1本/L以下であった。

○№39

・作業状況

№39は、対象建屋1階の天井・梁の吹付材（クリソタイル）を手ケレンにより除去していた。

飛散抑制剤により天井、梁部分の吹付材を湿潤化し、手ケレンにより吹付材を剥ぎ、直接プラスチック袋に入れていた。回収したプラスチック袋は負圧養生内1階の部屋に保管されていた。

前室のビニールシートカーテンは、チャック付きで負圧隔離養生内は差圧計で-2～-3Paで負圧は確認できた。しかし、セキュリティーゾーン出入口においては作業員の出入りの際及び除去作業中に自動測定器（ファイバーモニター等）の数値の上昇が確認された。

集じん排気装置は1階エリアに1台設置し、集じん排気装置のフィルター交換を測定中行っていた。

測定地点として、セキュリティーゾーン出入口（外側)、集じん排気装置出口及び施工区画周辺を選定した。

なお、隔離養生部分に穴をあけて第1室内での測定ができなかったこと及びセキュリティーゾーンの前が狭く三脚等を使用した測定用ろ紙ホルダーの設置ができなかったことから、セキュリティーゾーンのカーテン外側にろ紙ホルダー及び自動測定器測定用チューブを設置し「セキュリティーゾーン出入口（外側)」で測定を行った。

・調査結果

セキュリティーゾーン出入口（外側)、集じん排気装置出口及び施工区画周辺の全測定地点で総繊維数濃度は1本/L以下であった。

○№40の解体現場等

・作業状況

№40は、対象建屋2階の天井・梁の吹付材（クリソタイル）を手ケレンにより除去していた。

飛散抑制剤による天井・梁部分の吹付材を湿潤化し、手ケレンにより吹付材を剥ぎ、直接プラスチック袋で受けて回収を行っていた。その後、回収したプラスチック袋は負圧養生内1階の部屋に保管されていた。

前室のビニールシートカーテンは、チャック付きで負圧隔離養生内は差圧計で通常-2Paで負圧は確認できたが、測定中の10時から11時30分までの間、セキュリティーゾーン出入口に

おいて差圧計は0Paを示し除去作業中に自動測定器（ファイバーモニター等）の数値の上昇が確認された。

負圧が確保できていない理由について作業員に聞き取りをしたところ、梁面の石綿除去時は隔離養生ができており室内は負圧であったが、天井面の石綿を除去するために梁を撤去した際に隔離が解けてしまい、天井面を再養生するまでの間は負圧が確保できていなかったことが確認された。再養生後、負圧を確認してから除去作業を再開した。

なお、集じん排気装置は2階エリアに1台設置し、ビニールダクトは2階の階段から伸ばしていたが、曲がり部分に環状の支えもないため折れが生じており、風量が弱い印象をうけた。

測定地点としてセキュリティーゾーン出入口（内側）、集じん排気装置出口及び施工区画周辺を選定した。

・調査結果

セキュリティーゾーン出入口（内側）の測定地点において、総繊維数濃度1本/Lを超えたため、当該ろ紙をA-SEMで分析した。その結果、石綿繊維数濃度は0.2本/L(クリソタイル4.5%)が確認された。

なお、施工区画周辺はいずれも総繊維数濃度が1本/L以下であった。

○№41の解体現場等

・作業状況

№41は、対象建屋2階の天井・梁の吹付材(クリソタイル)を手ケレンにより除去していた。

飛散抑制剤による鉄骨・梁部分の吹付材を湿潤化し、手ケレンにより吹付材の剥ぎ落としを行い、直接ごみ袋で受けて回収を行っていた。除去した吹付材はプラスチック袋に詰めて2階負圧養生エリアに保管されていた。

前室のビニールシートカーテンは、チャック付きで負圧隔離養生内は差圧計で-7Paで負圧は確認できたが、セキュリティーゾーン出入口において自動測定器（ファイバーモニター等）の数値の上昇が確認された。

集じん排気装置は2階エリアに1台のみ設置し、ビニールダクトは窓部分から1階まで垂らして排気しており、曲がり部分が長い上に環状の支えも無いため折れが生じており、排気口の風量に影響している印象をうけた。

測定地点としてセキュリティーゾーン出入口（外側）、集じん排気装置出口及び施工区画周辺を選定した。

隔離養生部分に穴をあけて第1室内での測定ができなかったこと、セキュリティーゾーンの前が狭く三脚等を使用した測定用ろ紙ホルダーの設置ができなかったことから、セキュリティーゾーンのカーテン外側部分にろ紙ホルダー及び自動測定器測定用チューブを設置し「セキュリティーゾーン出入口（外側）」で測定を行った。

・調査結果

集じん排気装置出入口の測定地点において総繊維数濃度 1 本/L を超えたため、当該ろ紙をA-SEMで分析した結果、石綿繊維数濃度は0.5/L（クリソタイル22.2%）確認されたが、1本/L以下であった。

集じん排気装置のフィルターは測定前に交換されていたが、取り付け装着やフィルターの目

詰まりなどに問題があったと推察される。デジタル粉じん計は測定開始時から 1～7CPM カウントされていた。

施工区画周辺はいずれも総繊維数濃度が 1 本/L 以下であった。

○No.42 の解体現場等

・作業状況

No.42 は、外壁の石綿含有（クリソタイル・アンソフィライト）仕上塗材と下地調整材を除去していた。

集じん装置付きの乾式グラインダーを使用して、外壁の仕上塗材(下地調整材を含む。)を削っていた。除去作業中は隔離養生内で粉じんが舞っているのが目視でも確認することができる時もあった。なお、作業前に外壁に散水などは行っていなかった。

除去作業後は養生シートに飛散した仕上塗材を湿潤化しながら清掃作業を行った。

除去作業中と清掃の際に使用した機器は使用後、フィルターに溜まった粉じんを吸水性ポリマーと共にポリ袋に詰め、水をかけて飛散防止を行っていた。

乾式グラインダーのフィルター交換後、養生シートに落ちた粉じんを湿潤化しながら再度清掃を行っていた。

集じん装置付きの乾式グラインダーの吸引機器は最大静圧 50kPa、最大風量は 8㎥/分の性能を有していた。

測定地点として施工区画近傍（養生シート内の除去対象直近、負圧なし）と施工区画周辺を選定した。

・調査結果

施工区画近傍の測定地点において総繊維数濃度 1 本/L を超えたため、当該ろ紙を A-SEM で分析した結果、石綿繊維数濃度は検出下限値以下であった。

また、施工区画周辺はいずれも総繊維数濃度が 1 本/L 以下であった。

○No.43 の解体現場等

・作業状況

No.43 は、外壁の石綿含有（クリソタイルとアンソフィライト）仕上塗材と下地調整材の除去作業を行った。

集じん装置付きの湿式グラインダーを使用して、外壁の仕上塗材（下地調整材含む。）を削っていた。除去作業後は養生シートに飛散した剥がれた仕上塗材を湿潤化しながら清掃を行っていた。

除去作業中と清掃の際に使用した集じん機器は使用後、フィルターに溜まった粉じんを吸水性ポリマーと共にポリ袋に詰めて水をかけて飛散防止を行っていた。

湿式グラインダーのフィルター交換後に養生シート落ちた粉じんを湿潤化しながら再度清掃を行っていた。

集じん装置付きの湿式グラインダーの吸引機器は最大静圧 50kPa、最大風量は 8㎥/分の性能を有していた。

測定地点として施工区画近傍（養生シート内の除去対象直近、負圧なし）と施工区画周辺を

選定した。

・調査結果

全ての測定地点で総繊維数濃度は 1 本/L 以下であった。

○№44 の解体現場等

・作業状況

№44 は、外壁の石綿含有（クリソタイルとアンソフィライト）仕上塗材と下地調整材の除去作業を行った。

集じん装置付きの湿式グラインダーを使用して、外壁の仕上塗材（下地調整材含む。）を削っていた。除去作業後は養生シート上に飛散した、剥がれた仕上塗材を湿潤させながら清掃を行った。

除去作業中と清掃の際に使用した集じん機器は使用後、フィルターに溜まった粉じんを吸水性ポリマーと共にポリ袋に詰めて水をかけて飛散防止を行っていた。

湿式グラインダーのフィルターの交換後に養生シートに落ちた粉じんを湿潤化しながら再度清掃を行っていた。

除去作業で使用した集じん装置付き湿式グラインダーの吸引機器は吸引静圧が-96kPa 分の性能を有していた。

測定地点として施工区画近傍（養生シート内の除去対象直近、負圧なし）と施工区画周辺を選定した。

・調査結果

施工区画近傍の測定地点において総繊維数濃度 1 本/L を超えたため、当該ろ紙を A-SEM で分析した結果、石綿繊維は確認されなかった。

総繊維数濃度が 1 本/L 超えた原因として、除去作業中に舞った粉じんが養生シートに残り、仕上塗材を清掃した際に付着したと推察される。

なお、施工区画周辺はいずれも総繊維数濃度が 1 本/L 以下であった。

○№45 の解体現場等

・作業状況

№45 は、対象建屋 2 階天井の吹付材（クリソタイル）を手ケレンによる除去作業を行っていた。

集じん排気装置については、1 階から 3 階までの養生に対し、1 台設置していた。

建物外壁一面が崩落しており、当該箇所を覆うようにしてシート養生を行ってい。

飛散抑制剤による天井・梁部分の吹付材を湿潤化し、手ケレンにより吹付材の剥ぎ落としを行い、直接プラスチック袋で受けて回収を行っていた。その後、回収したプラスチック袋を保護衣等着脱室で 2 重にプラスチック袋に詰めて 1 階廃棄物保管庫に保管されていた。

作業は 1 時間程度と短時間で行われた。

前室のビニールシートカーテンはチャック付きで、負圧隔離養生内は差圧計で-0～-5Pa と負圧は安定していなかった。セキュリティーゾーン出入口において自動測定器（ファイバーモニター等）の数値の上昇が確認された。

集じん排気装置3台のビニールダクトは1階まで垂らして排気しており、長い曲がり部分に環状の支えも無いために折れが生じており、排気口の風量が不足している印象をうけた。

測定地点としては、セキュリティーゾーン出入口（内側）、集じん排気装置出口及び施工区画周辺を選定した。

また、集じん排気装置は1階から3階までの各階に1台ずつ設置されていたため、集じん排気装置出口の測定は3か所で測定を行った。

・調査結果

セキュリティーゾーン出入口（内側）、集じん排気装置出入口及び施工区画周辺の全測定地点で総繊維数濃度は1本/L以下であった。

（２）継続調査地域における調査結果の推移

今年度の「継続調査地域」における調査を地域分類別に集計・整理した結果を表3に示す。また、「発生源周辺地域」及び「バックグラウンド地域」の継続調査地点における総繊維数濃度の推移（平成17年度から令和6年度まで）を図1及び図2に示す。近年では、全ての地点で総繊維数濃度は１本/L以下であり、低いレベルで推移している。【詳細は別添2を参照】

表3　継続調査地域における令和6年度調査結果

地域分類	地点数	測定箇所数	測定データ数	総繊維数濃度		
				最小値（本/L）	最大値（本/L）	幾何平均値（本/L）
廃棄物処分場等	3	6	6	＜0.056	0.48	0.19
蛇紋岩地域	3	6	6	＜0.056	0.15	0.079
高速道路及び幹線道路沿線	6	12	12	＜0.056	0.21	0.073
住宅地域	7	13	13	＜0.056	0.12	0.077
商工業地域	5	10	10	＜0.056	0.10	0.073
農業地域	1	2	2	0.11	0.16	0.13
内陸山間地域	4	7	7	＜0.056	0.25	0.10
離島地域	4	8	8	＜0.056	0.14	0.079
合計	33	64	64	－	－	－

注1）各測定箇所の総繊維数濃度の評価に当たっては、平成元年12月27日付け環大企第490号通知「大気汚染防止法の一部を改正する法律の施行について」に基づき、各測定箇所で3日間（4時間×3回）測定して得られた個々の測定値を測定箇所ごとに幾何平均し、その値を総繊維数濃度としている。

注２）過去の調査結果と比較することを目的に、過去（平成 17～令和 6 年度調査）と同一地点において集計を実施した。調査地域の分類に当たっては、過去の調査結果においては異なる分類を行っていた地域もあるが、令和 4 年度の調査地域に合わせて分類した。

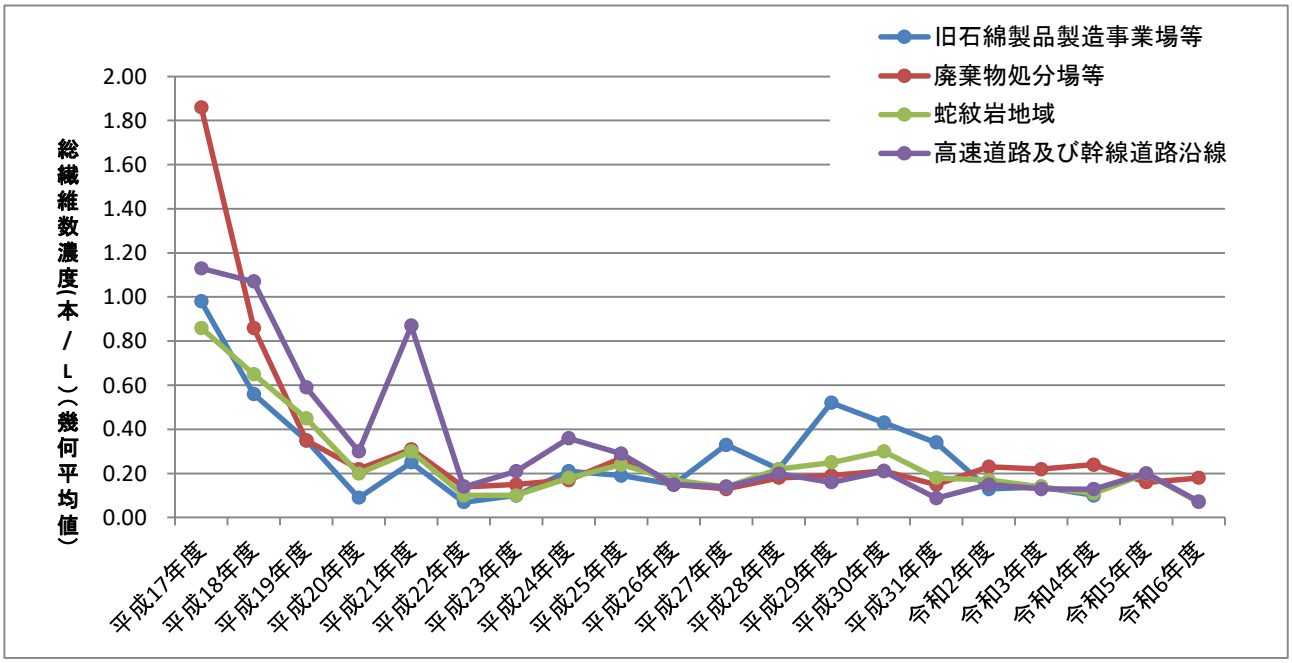

図１　継続調査地域における総繊維数濃度の推移（発生源周辺地域）

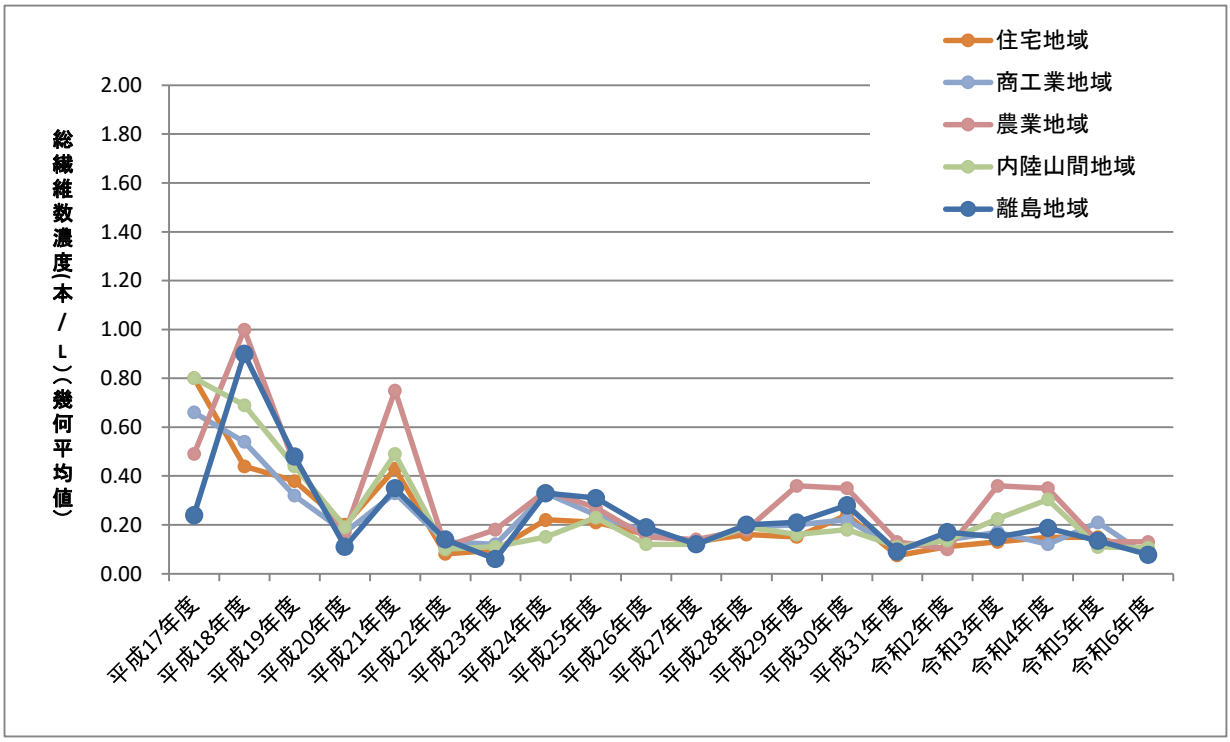

図２　継続調査地点における総繊維数濃度の推移（バックグラウンド地域）

（３）総繊維数濃度１本/L を超えた試料の A-SEM による分析結果

PCM による測定の結果、全 258 試料中、総繊維数濃度が１本/L を超えた 8 試料について、A-SEM による測定を行った。

測定結果を以下に示す。併せて、A-SEM 測定結果一覧を表 4 に、PCM 測定結果一覧を表 5 に示す。

ア　継続調査地点について

継続地点においては、総繊維数濃度が１本/L を超過した地点はなかった。なお、継続調査地点における経年調査結果比較を表 6 に示す。

イ　解体現場等について

総繊維数濃度が１本／L を超過した箇所について、A-SEM による測定を行った結果、№36 地点については、「セキュリティーゾーン出入口(内側)」において、石綿繊維数濃度が、4.3 本／L（クリソタイル 11.1%、アモサイト 1.6%）であった。

また、No.40地点の「セキュリティーゾーン出入口（内側)」で0.2本／L、No.41地点の「集じん排気装置出口」で0.5本／Lという結果であった。

なお、その他の地点では、検出下限値以下であった。

表４　総繊維数濃度が１本／Ｌを超過した試料のＡ－SEM 測定結果

地点No.	都道府県名	調査地域	地域分類	測定箇所	箇所番号	光学顕微鏡法	分析走査電子顕微鏡法（長さ５μｍ以上、幅 0.2μｍ以上）					石綿繊維数濃度
						総繊維数濃度	繊維数割合（%）					
						（本/L）	ｸﾘｿﾀｲﾙ	ｸﾛｼﾄﾞﾗｲﾄ	ｱﾓｻｲﾄ	その他石綿繊維	その他の繊維	（本/L）
No. 35	鳥取県	解体現場等	解体現場	⑤	作業場近傍	1.5	11.8	0	0	0	88.2	＜0.2
No. 36	石川県	解体現場等	解体現場	⑤	セキュリティーゾーン出入口	34	11.1	0	1.6	0	87.3	4.3
No. 38	青森県	解体現場等	解体現場	⑤	セキュリティーゾーン出入口	1.3	0	0	0	0	100	ND
No. 40	石川県	解体現場等	解体現場	⑤	セキュリティーゾーン出入口	5.1	4.5	0	0	0	95.5	0.2
No. 41	石川県	解体現場等	解体現場	⑥	集じん排気装置出口	2.3	22.2	0	0	0	77.8	0.5
No. 42	青森県	解体現場等	解体現場	⑤	施工区画近傍	1.2	4.7	0	0	2.3	93.0	＜0.2
No. 44	青森県	解体現場等	解体現場	⑤	施工区画近傍	1.3	0	0	0	0	100	ND
No. 45	石川県	解体現場等	解体現場	⑤	作業場内	7.1	0	0	0	0	100	ND

表５（１） PCMによる大気中総繊維濃度調査の計数結果

地点No.	都道府県名	地域名・事務所等	調査地域	地域分類	調査期間	箇所番号	光学顕微鏡法		
							（本/L）総繊維	フィルタ枚数	幾何平均（本/L）総繊維
1	北海道	富良野市住宅地域	継続調査地域	住宅地域	令和6年12月10日	①定点	0.17	1	0.12
					令和6年12月11日		<0.056	1	
					令和6年12月12日		0.22	1	
2	北海道	㈱ノザワフラノ工場（旧北海道工場）	継続調査地域	旧石綿製品製造事業場等	—	①定点	—	—	—
					—		—	—	
					—		—	—	
					—	②定点	—	—	—
					—		—	—	
					—		—	—	
					—	③定点	—	—	—
					—		—	—	
					—		—	—	
					—	④定点	—	—	—
					—		—	—	
					—		—	—	
					—	⑤定点	—	—	—
					—		—	—	
					—		—	—	
					—	⑥定点	—	—	—
					—		—	—	
					—		—	—	
					—	⑦定点	—	—	—
					—		—	—	
					—		—	—	
					—	⑧定点	—	—	—
					—		—	—	
					—		—	—	
3	北海道	野沢鉱山	継続調査地域	蛇紋岩地域	令和6年11月19日	①定点	0.11	1	0.070
					令和6年11月20日		<0.056	1	
					令和6年11月21日		<0.056	1	
					令和6年11月19日	②定点	0.056	1	0.088
					令和6年11月20日		0.056	1	
					令和6年11月21日		0.22	1	
4	岩手県	盛岡市住宅地域	継続調査地域	住宅地域	令和6年8月26日	①定点	<0.056	1	<0.056
					令和6年8月27日		<0.056	1	
					令和6年8月29日		<0.056	1	
					令和6年8月26日	②定点	0.11	1	0.070
					令和6年8月27日		<0.056	1	
					令和6年8月29日		0.056	1	
5	岩手県	国道4号線盛岡バイパス	継続調査地域	高速道路及び幹線道路沿線	令和6年8月26日	①定点	0.17	1	0.081
					令和6年8月27日		<0.056	1	
					令和6年8月29日		0.056	1	
					令和6年8月26日	②定点	<0.056	1	0.070
					令和6年8月27日		0.11	1	
					令和6年8月29日		0.056	1	
6	岩手県	釜石市住宅地域	継続調査地域	住宅地域	令和6年9月2日	①定点	<0.056	1	0.088
					令和6年9月3日		0.056	1	
					令和6年9月4日		0.22	1	
					令和6年9月2日	②定点	0.11	1	0.087
					令和6年9月3日		0.11	1	
					令和6年9月4日		<0.056	1	
7	岩手県	遠野市蛇紋岩採石場	継続調査地域	蛇紋岩地域	令和6年9月2日	①定点	0.28	1	0.15
					令和6年9月3日		0.22	1	
					令和6年9月4日		<0.056	1	
					令和6年9月2日	②定点	<0.056	1	0.056
					令和6年9月3日		0.056	1	
					令和6年9月4日		<0.056	1	
8	宮城県	国設箟岳局	継続調査地域	内陸山間地域	令和6年8月19日	①定点	<0.056	1	0.070
					令和6年8月20日		0.056	1	
					令和6年8月21日		0.11	1	
					令和6年8月19日	②定点	<0.056	1	0.088
					令和6年8月20日		<0.056	1	
					令和6年8月21日		0.22	1	
9	山形県	山形県立米沢女子短期大学	継続調査地域	住宅地域	令和6年9月9日	①定点	0.056	1	0.070
					令和6年9月10日		0.11	1	
					令和6年9月11日		<0.056	1	
					令和6年9月9日	②定点	<0.056	1	0.088
					令和6年9月10日		<0.056	1	
					令和6年9月11日		0.22	1	

検出下限値：0.056本／L

表５（２） PCMによる大気中総繊維濃度調査の計数結果

地点No.	都道府県名	地域名・事務所等	調査地域	地域分類	調査期間	箇所番号	光学顕微鏡法		
							（本/L）	フィルタ枚数	幾何平均（本/L）
							総繊維		総繊維
10	山形県	国道13号線	継続調査地域	高速道路及び幹線道路沿線	令和6年9月9日	①定点	<0.056	1	0.056
					令和6年9月10日		0.056	1	
					令和6年9月11日		<0.056	1	
					令和6年9月9日	②定点	<0.056	1	0.056
					令和6年9月10日		0.056	1	
					令和6年9月11日		<0.056	1	
11	福島県	いわき処分場保全センター	継続調査地域	廃棄物処分場等	令和6年9月18日	①定点	0.39	1	0.21
					令和6年9月19日		0.45	1	
					令和6年9月20日		<0.056	1	
					令和6年9月18日	②定点	0.45	1	0.28
					令和6年9月19日		0.11	1	
					令和6年9月20日		0.45	1	
12	福島県	廃棄物処分場から800m離れたBG地域	継続調査地域	内陸山間地域	令和6年9月18日	①定点	0.11	1	0.13
					令和6年9月19日		<0.056	1	
					令和6年9月20日		0.39	1	
13	東京都	中央防波堤埋立処分場	継続調査地域	廃棄物処分場等	令和6年8月5日	①定点	0.11	1	0.11
					令和6年8月6日		0.056	1	
					令和6年8月7日		0.28	1	
					令和6年8月5日	②定点	0.17	1	0.26
					令和6年8月6日		0.51	1	
					令和6年8月7日		0.22	1	
14	東京都	東京都環境科学研究所	継続調査地域	商工業地域	令和6年7月29日	①定点	<0.056	1	<0.056
					令和6年7月30日		<0.056	1	
					令和6年7月31日		<0.056	1	
					令和6年7月29日	②定点	0.11	1	0.10
					令和6年7月30日		0.17	1	
					令和6年7月31日		<0.056	1	
15	神奈川県	川崎区役所大師支所及び川崎市大師老人いこいの家こども文化センター	継続調査地域	商工業地域	令和6年9月9日	①定点	<0.056	1	0.070
					令和6年9月10日		<0.056	1	
					令和6年9月11日		0.11	1	
					令和6年9月9日	②定点	0.056	1	0.056
					令和6年9月10日		<0.056	1	
					令和6年9月11日		<0.056	1	
16	神奈川県	川崎市幹線道路	継続調査地域	高速道路及び幹線道路沿線	令和6年8月13日	①定点	0.056	1	0.056
					令和6年8月14日		<0.056	1	
					令和6年8月15日		<0.056	1	
					令和6年8月13日	②定点	0.28	1	0.095
					令和6年8月14日		0.056	1	
					令和6年8月15日		<0.056	1	
17	愛知県	名古屋市住宅地域	継続調査地域	住宅地域	令和6年10月1日	①定点	0.11	1	0.087
					令和6年10月2日		0.056	1	
					令和6年10月3日		0.11	1	
					令和6年10月1日	②定点	<0.056	1	0.070
					令和6年10月2日		0.11	1	
					令和6年10月3日		0.056	1	
18	愛知県	県道名古屋長久手線	継続調査地域	高速道路及び幹線道路沿線	令和6年10月1日	①定点	0.17	1	0.12
					令和6年10月2日		0.22	1	
					令和6年10月3日		<0.056	1	
					令和6年10月1日	②定点	0.056	1	0.056
					令和6年10月2日		<0.056	1	
					令和6年10月3日		<0.056	1	
19	大阪府	堺第7-3区廃棄処分場（旧中間処理センター）	継続調査地域	廃棄物処分場等	令和6年11月19日	①定点	0.39	1	0.48
					令和6年11月20日		0.51	1	
					令和6年11月21日		0.56	1	
					令和6年11月19日	②定点	<0.056	1	<0.056
					令和6年11月20日		<0.056	1	
					令和6年11月21日		<0.056	1	

検出下限値：0.056本／L

表５（３） PCMによる大気中総繊維濃度調査の計数結果

地点No.	都道府県名	地域名・事務所等	調査地域	地域分類	調査期間	箇所番号	光学顕微鏡法		
							(本/L)	フィルタ枚数	幾何平均(本/L)
							総繊維		総繊維
20	大阪府	堺港湾合同庁舎	継続調査地域	商工業地域	令和6年10月8日	①定点	<0.056	1	0.056
					令和6年10月9日		0.056	1	
					令和6年10月10日		<0.056	1	
					令和6年10月8日	②定点	<0.056	1	0.10
					令和6年10月9日		0.34	1	
					令和6年10月10日		0.056	1	
21	大阪府	双子川浄苑	継続調査地域	商工業地域	令和6年10月16日	①定点	<0.056	1	0.088
					令和6年10月17日		<0.056	1	
					令和6年10月18日		0.22	1	
					令和6年10月16日	②定点	0.056	1	0.081
					令和6年10月17日		0.056	1	
					令和6年10月18日		0.17	1	
22	兵庫県	国設一般大気環境測定局前及び兵庫県尼崎総合庁舎	継続調査地域	商工業地域	令和6年9月25日	①定点	0.22	1	0.088
					令和6年9月26日		<0.056	1	
					令和6年9月27日		<0.056	1	
					令和6年9月25日	②定点	0.056	1	0.056
					令和6年9月26日		<0.056	1	
					令和6年9月27日		0.056	1	
23	奈良県	奈良県農協会館	継続調査地域	住宅地域	令和6年9月10日	①定点	<0.056	1	0.081
					令和6年9月11日		<0.056	1	
					令和6年9月12日		0.17	1	
					令和6年9月10日	②定点	0.056	1	0.088
					令和6年9月11日		<0.056	1	
					令和6年9月12日		0.22	1	
24	島根県	国設隠岐局	継続調査地域	離島地域	令和6年9月2日	①定点	<0.056	1	<0.056
					令和6年9月3日		<0.056	1	
					令和6年9月4日		<0.056	1	
					令和6年9月2日	②定点	<0.056	1	0.081
					令和6年9月3日		0.17	1	
					令和6年9月4日		<0.056	1	
25	広島県	南原峡県立自然公園	継続調査地域	内陸山間地域	令和6年10月28日	①定点	0.056	1	0.088
					令和6年10月29日		<0.056	1	
					令和6年10月30日		0.22	1	
					令和6年10月28日	②定点	<0.056	1	<0.056
					令和6年10月29日		<0.056	1	
					令和6年10月30日		<0.056	1	
26	広島県	山陽自動車道五日市インター	継続調査地域	高速道路及び幹線道路沿線	令和6年9月30日	①定点	0.056	1	0.056
					令和6年10月1日		<0.056	1	
					令和6年10月2日		<0.056	1	
					令和6年9月30日	②定点	0.34	1	0.21
					令和6年10月1日		0.28	1	
					令和6年10月2日		0.11	1	
27	福岡県	国設筑後小郡環境大気測定所	継続調査地域	農業地域	令和6年11月11日	①定点	0.22	1	0.11
					令和6年11月12日		0.11	1	
					令和6年11月13日		0.056	1	
					令和6年11月11日	②定点	0.34	1	0.16
					令和6年11月12日		0.056	2	
					令和6年11月13日		0.22	1	
28	福岡県	千石の郷	継続調査地域	内陸山間地域	令和6年6月24日	①定点	0.17	1	0.25
					令和6年6月25日		0.22	1	
					令和6年6月26日		0.45	1	
					令和6年6月24日	②定点	0.22	1	0.12
					令和6年6月25日		0.17	1	
					令和6年6月26日		<0.056	1	
29	福岡県	福岡市住宅地域	継続調査地域	住宅地域	令和6年7月30日	①定点	<0.056	1	<0.056
					令和6年7月31日		<0.056	1	
					令和6年8月1日		<0.056	1	
					令和6年7月30日	②定点	<0.056	1	<0.056
					令和6年7月31日		<0.056	1	
					令和6年8月1日		<0.056	1	

検出下限値:0.056本／L

表５（４）PCMによる大気中総繊維濃度調査の計数結果

地点No.	都道府県名	地域名・事務所等	調査地域	地域分類	調査期間	箇所番号	光学顕微鏡法		
							（本/L）総繊維	フィルタ枚数	幾何平均（本/L）総繊維
30	福岡県	国道3号線千鳥橋交差点	継続調査地域	高速道路及び幹線道路沿線	令和6年7月30日	①定点	<0.056	1	<0.056
					令和6年7月31日		<0.056	1	
					令和6年8月1日		<0.056	1	
					令和6年7月30日	②定点	<0.056	1	<0.056
					令和6年7月31日		<0.056	1	
					令和6年8月1日		<0.056	1	
31	福岡県	糟屋郡旧蛇紋岩採石場	継続調査地域	蛇紋岩地域	令和6年12月9日	①定点	<0.056	1	0.070
					令和6年12月10日		<0.056	1	
					令和6年12月11日		0.11	1	
					令和6年12月9日	②定点	<0.056	1	0.070
					令和6年12月10日		<0.056	1	
					令和6年12月11日		0.11	1	
32	佐賀県	小川島	継続調査地域	離島地域	令和6年10月28日	①定点	0.11	1	0.14
					令和6年10月29日		0.17	1	
					令和6年10月30日		0.17	1	
					令和6年10月28日	②定点	0.11	1	0.070
					令和6年10月29日		0.056	1	
					令和6年10月30日		<0.056	1	
33	長崎県	国設対馬酸性雨測定所	継続調査地域	離島地域	令和6年11月11日	①定点	0.17	1	0.081
					令和6年11月12日		<0.056	1	
					令和6年11月13日		<0.056	1	
					令和6年11月11日	②定点	0.17	1	0.081
					令和6年11月12日		<0.056	1	
					令和6年11月13日		<0.056	1	
34	沖縄県	国設辺戸岬酸性雨測定所	継続調査地域	離島地域	令和6年10月22日	①定点	<0.056	1	<0.056
					令和6年10月23日		<0.056	1	
					令和6年10月25日		<0.056	1	
					令和6年10月22日	②定点	<0.056	1	0.088
					令和6年10月23日		<0.056	1	
					令和6年10月25日		0.22	1	

検出下限値：0.056本／L

表５（５） PCMによる大気中総繊維濃度調査の計数結果

地点No.	都道府県名	地域名・事務所等	調査地域	地域分類	調査期間	箇所番号	光学顕微鏡法			分析走査電子顕微鏡法
							（本/L）	フィルタ枚数	幾何平均（本/L）	（本/L）
							総繊維		総繊維	石綿総繊維濃度
35	鳥取県	解体現場	解体現場等	解体現場	令和6年6月25日	①施工区画周辺	0.39	1	－	－
						②施工区画周辺	0.34	1		－
						③施工区画周辺	0.22	1		－
						④施工区画周辺	0.34	1		－
						⑤作業場近傍	1.5	1		<0.2
36	石川県	解体現場	解体現場等	解体現場	令和6年8月28日	①施工区画周辺	＜0.056	1	－	－
						②施工区画周辺	＜0.056	1		－
						③施工区画周辺	＜0.056	1		－
						④施工区画周辺	＜0.056	1		－
						⑤セキュリティーゾーン出入口	34	1		4.3
						⑥集じん排気装置出口	0.34	1		－
37	石川県	解体現場	解体現場等	解体現場	令和6年9月6日	①施工区画周辺	＜0.056	1	－	－
						②施工区画周辺	＜0.056	1		－
						③施工区画周辺	0.11	1		－
						④施工区画周辺	＜0.056	1		－
						⑤セキュリティーゾーン出入口	＜0.11	1		－
						⑥集じん排気装置出口	＜0.11	1		－
38	青森県	解体現場	解体現場等	解体現場	令和6年9月10日	①施工区画周辺	＜0.056	1	－	－
						②施工区画周辺	0.056	1		－
						③施工区画周辺	＜0.056	1		－
						④施工区画周辺	0.11	1		－
						⑤セキュリティーゾーン出入口①	1.3	1		ND
						⑥集じん排気装置出口	0.34	1		－
						⑤セキュリティーゾーン出入口②	0.45	1		－
39	石川県	解体現場	解体現場等	解体現場	令和6年9月13日	①施工区画周辺	<0.056	1	－	－
						②施工区画周辺	0.056	1		－
						③施工区画周辺	0.056	1		－
						④施工区画周辺	0.17	1		－
						⑤セキュリティーゾーン出入口	0.45	1		－
						⑥集じん排気装置出口	<0.11	1		－
40	石川県	解体現場	解体現場等	解体現場	令和6年9月27日	①施工区画周辺	0.56	1	－	－
						②施工区画周辺	0.45	1		－
						③施工区画周辺	<0.056	1		－
						④施工区画周辺	0.056	1		－
						⑤セキュリティーゾーン出入口	5.1	1		0.2
						⑥集じん排気装置出口	0.22	1		－
41	石川県	解体現場	解体現場等	解体現場	令和6年10月8日	①施工区画周辺	<0.056	1	－	－
						②施工区画周辺	0.17	1		－
						③施工区画周辺	0.056	1		－
						④施工区画周辺	0.11	1		－
						⑤セキュリティーゾーン出入口	0.22	1		－
						⑥集じん排気装置出口	2.3	1		0.5
42	青森県	解体現場	解体現場等	解体現場	令和6年10月24日	①施工区画周辺	0.34	1	－	－
						②施工区画周辺	0.56	1		－
						③施工区画周辺	<0.11	1		－
						④施工区画周辺	<0.11	1		－
						⑤施工区画近傍	1.2	2		<0.2
43	青森県	解体現場	解体現場等	解体現場	令和6年10月24日	①施工区画周辺	0.34	1	－	－
						②施工区画周辺	<0.11	1		－
						③施工区画周辺	<0.11	1		－
						④施工区画周辺	0.11	1		－
						⑤施工区画近傍	<0.11	1		－
44	青森県	解体現場	解体現場等	解体現場	令和6年10月24日	①施工区画周辺	<0.11	1	－	－
						②施工区画周辺	0.22	1		－
						③施工区画周辺	<0.11	1		－
						④施工区画周辺	0.11	1		－
						⑤施工区画近傍	1.3	1		ND
45	石川県	解体現場	解体現場等	解体現場	令和7年1月10日	①施工区画周辺	0.11	1	－	－
						②施工区画周辺	0.22	1		－
						③施工区画周辺	0.056	1		－
						④施工区画周辺	0.11	1		－
						⑤セキュリティーゾーン出入口	0.56	1		－
						⑥集じん排気装置出口	＜0.11	1		－
						⑦集じん排気装置出口	＜0.11	1		－
						⑧集じん排気装置出口	0.22	1		－
						⑨作業所内	7.1	1		ND

（注）(1)地域分類　　：以下の14種類に分かれている。

1. 内陸山間地域
2. 離島地域
3. 【継続】旧石綿製品製造事業場等　　：平成17～令和4年度と同一の調査地域
4. 【継続】廃棄物処分場等　　：平成17～令和4年度と同一の調査地域
5. 【継続】蛇紋岩地域　　：平成17～令和4年度と同一の調査地域
6. 【継続】高速道路及び幹線道路沿線　　：平成17～令和4年度と同一の調査地域
7. 【継続】内陸山間地域　　：平成17～令和4年度と同一の調査地域
8. 【継続】離島地域　　：平成17～令和4年度と同一の調査地域
9. 【継続】住宅地域　　：平成17～令和4年度と同一の調査地域
10. 【継続】商工業地域　　：平成17～令和4年度と同一の調査地域
11. 【継続】農業地域　　：平成17～令和4年度と同一の調査地域
12. 廃棄物処分場等
13. 解体現場等：建築物等の解体等工事の作業現場

(2)地域名　　：事業場名称、所在地等を記載した。

(3)測定箇所番号：各地域で複数の調査地点を設けている。例えば、調査地点が1地点に4箇所ある場合、①、②、③、④と測定箇所番号をつけている。

(4)地点分類　　：解体現場等においては「建物周辺」、「セキュリティーゾーン出入口」、「集じん機排気装置出口」と表している。なお、「施工区画周辺」とは、解体現場等の直近で一般の人の通行等がある場所との境界、「セキュリティーゾーン出入口」とは、作業員が出入りする際に石綿が直接外部に飛散しないように設けられた室の出入口、「集じん機排気装置出口」とは、集じん・排気装置の外部への排気口付近を意味している。

(5)繊維数濃度　：各測定箇所の総繊維数濃度の評価に当たっては、平成元年12月27日付け環大企第490号通知「大気汚染防止法の一部を改正する法律の施行について」に基づき、各測定箇所で3日間（4時間×3回）測定して得られた個々の測定値を測定箇所ごとに幾何平均し、その値を当該地点の総繊維数濃度としている。また、解体現場等においては、解体等の工事には短期間で終了するものがあるため、各測定箇所で1日間（No.35～39：2時間×1回）測定し、その測定値を当該地点における総繊維数濃度としている。なお、NDは繊維未検出のことを示している。総繊維数濃度は、位相差顕微鏡によって繊維状に見える粒子の計数結果から算出したものである。

表６　　継続調査地域における経年調査結果比較

総繊維数濃度 幾何平均値 （本/L）

地域分類	地域名	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
旧石綿製品製造事業場等	㈱ノザワ フラノ工場(北海道)	0.98		0.56		0.35		0.09		0.25		0.07		0.10		0.21		0.19		0.15	
廃棄物処分場等	福島県いわき処分場保全センター(福島県)	1.16		0.82		0.43		0.18		0.27		0.11		0.18		0.07		0.31		0.08	
	中央防波堤埋立処分場(東京都)	2.00	1.86	1.77	0.86	0.23	0.35	0.32	0.23	0.27	0.31	0.21	0.14	0.20	0.16	0.32	0.18	0.26	0.27	0.20	0.16
	堺第7－3区廃棄処分場(旧中間処理センター)(大阪府)	2.80		0.44		0.45		0.21		0.41		0.13		0.11		0.26		0.25		0.24	
蛇紋岩地域	糟屋郡旧蛇紋岩採石場(福岡県)	1.10		0.56		0.48		0.22		0.19		0.10		0.10		0.18		0.24		0.21	
	遠野市蛇紋岩採石場（岩手県）	0.68	0.86	0.77	0.66	0.44	0.46	0.20	0.21	0.48	0.30	0.11	0.11	–	0.10	–	0.18	–	0.24	0.14	0.17
	野沢鉱山(北海道)	–		–		–		–		–		–		–		–		–		–	
高速道路沿線及び幹線道路沿線	国道4号線盛岡バイパス（岩手県）	1.69		2.08		0.48		0.46		1.18		0.10		–		–		–		0.13	
	国道13号線（山形県）	1.22		1.42		0.71		0.46		1.08		0.11		–		–		–		0.10	
	川崎市幹線道路(神奈川県)	3.79	1.13	0.88	1.08	0.44	0.59	0.23	0.30	1.04	0.88	0.14	0.14	0.13	0.21	0.71	0.36	0.38	0.29	0.16	0.15
	県道名古屋長久手線(愛知県)	0.78		2.07		0.93		0.51		0.67		0.14		0.19		0.31		0.28		0.25	
	山陽自動車道五日市インター(広島県)	0.54		0.52		0.86		0.12		0.57		0.14		0.28		0.25		0.30		0.15	
	国道3号線千鳥橋交差点(福岡県)	0.65		0.56		0.36		0.27		0.91		0.29		0.30		0.31		0.23		0.18	
住宅地域	富良野市住宅地域(北海道)	0.77		0.37		0.49		0.14		0.41		0.06		0.10		0.21		0.22		0.18	
	盛岡市住宅地域（岩手県）	0.73		0.24		0.41		0.29		0.72		0.07		–		–		–		0.13	
	釜石市住宅地域（岩手県）	0.46		0.34		0.27		0.18		0.27		0.13		–		–		–		0.14	
	山形県立米沢女子短期大学(山形県)	0.76	0.81	0.68	0.45	0.36	0.37	0.48	0.21	0.30	0.43	0.08	0.08	–	0.10	–	0.18	–	0.22	0.14	0.16
	名古屋市住宅地域(愛知県)	2.80		1.29		0.43		0.25		0.77		0.07		0.06		0.30		0.23		0.26	
	奈良県農協会館（平成24年度までは県保健環境研究センター及び県奈良総合庁舎）（奈良県）	0.62		0.36		0.37		0.11		0.27		0.10		0.09		0.18		0.19		0.17	
	福岡市住宅地域(福岡県)	0.65		0.35		0.38		0.14		0.56		0.08		0.17		0.21		0.22		0.16	
商工業地域	東京都環境科学研究所(東京都)	1.16		0.69		0.21		0.20		0.18		0.19		0.15		0.43		0.33		0.23	
	大師中央地域包括支援センター※及び川崎区役所大師支所(平成23年度までは川崎公害研究所）（神奈川県）	1.11		1.05		0.31		0.23		0.53		0.15		0.06		0.34		0.25		0.19	
	堺港湾合同庁舎(大阪府)	0.62	0.66	0.24	0.55	0.25	0.33	0.14	0.18	0.30	0.33	0.09	0.13	0.11	0.12	0.42	0.33	0.22	0.25	0.14	0.18
	国設一般大気環境測定局前及び兵庫県尼崎総合庁舎（平成24年度までは国設一般大気環境測定局前及び尼崎市立労働センター中庭）（兵庫県）	0.59		0.62		0.27		0.17		0.34		0.16		0.21		0.31		0.25		0.14	
	双子川浄苑(大阪府)	0.27		0.46		0.81		0.17		0.43		0.11		0.10		0.21		0.21		0.21	
農業地域	国設筑後小郡環境大気測定所(福岡県)	0.49		1.00		0.45		0.17		0.75		0.11		0.18		0.34		0.27		0.15	
内陸山間地域	廃棄物処分場から800m離れたバックグラウンド地域（福島県）	1.44		0.74		0.44		0.19		0.41		0.11		0.19		0.07		0.22		0.06	
	国設篦岳局	–	0.72	–	0.68	–	0.45	–	0.20	–	0.51	–	0.10	–	0.11	–	0.15	–	0.24	0.20	0.12
	南原峡県立自然公園(広島県)	0.61		0.60		0.48		0.14		0.50		0.08		0.06		0.20		0.19		0.13	
	千石の郷(福岡県)	0.59		0.74		0.43		0.29		0.58		0.12		0.13		0.25		0.32		0.16	
離島地域	小川島(佐賀県)	0.24		0.90		0.48		0.11		0.35		0.14		0.06		0.33		0.31		0.34	
	国設対馬酸性雨測定所	–	0.24	–	0.90	–	0.48	–	0.11	–	0.35	–	0.14	–	0.06	–	0.33	–	0.31	0.13	0.19
	国設隠岐局	–		–		–		–		–		–		–		–		–		0.15	
	国設辺戸岬酸性雨測定所	–		–		–		–		–		–		–		–		–		0.19	
解体現場	施工区画周辺	1.01	1.28	0.83	1.14	0.45	0.51	0.18	0.20	0.46	0.49	0.12	0.19	0.21	0.31	0.44	0.56	0.42	0.75	0.30	0.47
	セキュリティゾーン出入口及び集じん排気装置出口	2.10		2.13		0.65		0.25		0.56		0.48		0.66		0.80		1.6		1.3	

地域分類	地域名	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
旧石綿製品製造事業場等	㈱ノザワ フラノ工場(北海道)	0.33		0.22		0.52		0.43		0.34		0.13		0.14		0.10		―		―	
廃棄物処分場等	福島県いわき処分場保全センター(福島県)	0.06		0.19		0.17		0.09		0.16		0.22		0.21		0.27		0.58		0.24	
	中央防波堤埋立処分場(東京都)	0.19	0.13	0.13	0.19	0.19	0.19	0.22	0.21	0.14	0.15	0.25	0.23	0.20	0.22	0.24	0.24	0.11	0.16	0.17	0.19
	堺第7－3区廃棄処分場(旧中間処理センター)(大阪府)	0.19		0.26		0.21		0.48		0.15		0.23		0.24		0.22		0.070		0.16	
蛇紋岩地域	糟屋郡旧蛇紋岩採石場(福岡県)	0.10		0.29		0.21		0.37		0.15		0.18		0.18		0.27		0.27		0.070	
	遠野市蛇紋岩採石場（岩手県）	0.22	0.15	0.22	0.25	0.30	0.28	0.32	0.30	0.17	0.18	0.25	0.17	0.16	0.14	0.11	0.14	0.11	0.21	0.091	0.080
	野沢鉱山(北海道)	–		0.17		0.35		0.23		0.24		0.11		0.11		0.056		0.28		0.078	
高速道路沿線及び幹線道路沿線	国道4号線盛岡バイパス（岩手県）	0.10		0.17		0.10		0.20		0.10		0.18		0.15		0.11		0.15		0.075	
	国道13号線（山形県）	0.13		0.17		0.19		0.17		0.06		0.14		0.13		0.16		0.18		0.056	
	川崎市幹線道路(神奈川県)	0.10	0.14	0.33	0.21	0.18	0.17	0.22	0.21	0.059	0.088	0.10	0.15	0.16	0.13	0.16	0.13	0.18	0.20	0.073	0.074
	県道名古屋長久手線(愛知県)	0.20		0.15		0.13		0.24		0.083		0.11		0.077		0.10		0.27		0.084	
	山陽自動車道五日市インター(広島県)	0.18		0.20		0.25		0.19		0.16		0.20		0.098		0.15		0.16		0.11	
	国道3号線千鳥橋交差点(福岡県)	0.18		0.28		0.22		0.26		0.10		0.21		0.27		0.11		0.32		0.056	
住宅地域	富良野市住宅地域(北海道)	0.094		0.12		0.22		0.16		0.078		0.12		0.24		0.11		0.16		0.12	
	盛岡市住宅地域（岩手県）	0.14		0.13		0.09		0.25		0.099		0.19		0.11		0.16		0.062		0.062	
	釜石市住宅地域（岩手県）	0.13		0.27		0.13		0.20		0.062		0.13		0.11		0.086		0.19		0.088	
	山形県立米沢女子短期大学(山形県)	0.12	0.14	0.16	0.17	0.13	0.15	0.30	0.26	0.056	0.075	0.085	0.11	0.20	0.13	0.22	0.15	0.16	0.15	0.078	0.079
	名古屋市住宅地域(愛知県)	0.21		0.12		0.12		0.43		0.14		0.14		0.077		0.10		0.19		0.078	
	奈良県農協会館（平成24年度までは県保健環境研究センター及び県奈良総合庁舎）（奈良県）	0.12		0.19		0.15		0.22		0.061		0.086		0.11		0.17		0.26		0.084	
	福岡市住宅地域(福岡県)	0.17		0.24		0.28		0.25		0.062		0.073		0.19		0.29		0.11		0.056	
商工業地域	東京都環境科学研究所(東京都)	0.25		0.18		0.27		0.40		0.083		0.091		0.28		0.094		0.13		0.075	
	大師中央地域包括支援センター※及び川崎区役所大師支所(平成23年度までは川崎公害研究所）（神奈川県）	0.11		0.22		0.28		0.18		0.078		0.11		0.23		0.11		0.20		0.062	
	堺港湾合同庁舎(大阪府)	0.13	0.14	0.19	0.20	0.21	0.25	0.16	0.23	0.12	0.10	0.16	0.14	0.14	0.17	0.16	0.12	0.16	0.21	0.075	0.073
	国設一般大気環境測定局前及び兵庫県尼崎総合庁舎（平成24年度までは国設一般大気環境測定局前及び尼崎市立労働センター中庭）（兵庫県）	0.10		0.18		0.24		0.25		0.13		0.21		0.11		0.14		0.40		0.070	
	双子川浄苑(大阪府)	0.14		0.23		0.29		0.21		0.11		0.15		0.17		0.14		0.26		0.084	
農業地域	国設筑後小郡環境大気測定所(福岡県)	0.14		0.18		0.23		0.35		0.13		0.10		0.36		0.35		0.13		0.13	
内陸山間地域	廃棄物処分場から800m離れたバックグラウンド地域（福島県）	0.06		0.20		0.11		0.06		0.16		0.10		0.14		0.61		0.091		0.13	
	国設篦岳局	0.10	0.12	0.22	0.19	0.08	0.14	0.41	0.18	0.069	0.11	0.10	0.14	0.20	0.24	0.27	0.28	0.056	0.092	0.078	0.10
	南原峡県立自然公園(広島県)	0.18		0.20		0.22		0.21		0.11		0.21		0.16		0.21		0.078		0.070	
	千石の郷(福岡県)	0.24		0.15		0.22		0.22		0.13		0.15		0.58		0.25		0.36		0.18	
離島地域	小川島(佐賀県)	0.12		0.25		0.25		0.30		0.11		0.21		0.13		0.095		0.10		0.10	
	国設対馬酸性雨測定所	0.10	0.12	0.18	0.20	0.13	0.21	0.34	0.28	0.056	0.091	0.15	0.17	0.14	0.15	0.17	0.19	0.13	0.14	0.081	0.079
	国設隠岐局	0.08		0.22		0.36		0.16		0.085		0.15		0.23		0.38		0.16		0.067	
	国設辺戸岬酸性雨測定所	0.20		0.17		0.16		0.39		0.13		0.18		0.14		0.20		0.16		0.070	
解体現場	施工区画周辺	0.17	0.31	0.24	0.38	0.19	0.22	0.45	0.51	0.41	0.71	0.37	0.57	0.31	0.35	0.23	0.39	0.74	0.81	0.11	0.22
	セキュリティゾーン出入口及び集じん排気装置出口	1.0		0.97		0.29		0.82		1.8		3.1		0.40		1.4		0.96		0.44	